



概要

沼田町は、4系統の町営バスが町内の公共交通の中心となっているが、人口減少や自家用車の利用増の影響などにより利用者が減少しているほか、既存公共交通機関ではカバーしきれない公共交通空白・不便地域がみられ、特に、高齢者等の外出手段が限定された状況にあることから、新たな交通システムの導入、バスの乗継ぎ改善、商店街との連携による公共交通利用促進策の実施等により、町民生活の利便性の向上と交通弱者の生活を支える交通システムの構築を図る。

新たな交通システムの導入(21年度～)

・既存公共交通機関でカバーされていない交通空白・不便地域における交通弱者の移動手段確保、既存公共交通機関の利便性の向上を図るため、既存路線の見直し及び再編の実施、町内の2地区を対象にコミュニティバス及びデマンド交通導入の実証運行を行う。

バスの乗継ぎ改善(21年度～)

・町営バスと空知中央バス等との乗継ぎの利便性の向上を図るため、空知中央バス等の発着に合わせた町営バスの運行時間設定や運行ルートの変更等を行う。

公共交通利用促進事業の実施(22年度～)

・バス利用による買物客に対して町商工会が発行しているポイントカードにポイントを付与するなど、商店街と連携した公共交通の利用促進策を導入する。
・バス待ち時間の快適性向上、「たまり・交流」空間の創出による地域活性化を図るため、既存施設を活用したコミュニティスペースを設置する。
・意識改革による利用促進を図るため、ニューズレターの発行、シンポジウム・講演会等の開催及び小中学生を対象とした交通教育を実施する。



沼田町地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容	協議会開催状況	3回開催	分科会等開催状況	-	回数は、平成21年度未までの開催予定
--------	---------	------	----------	---	--------------------

新たな交通システムの導入に向けたコミュニティバス実証運行
・町内の交通空白地域及び交通不便地域を解消するために、コミュニティバスの実証運行を実施

公共交通の利用促進に向けた取り組み
・町営バス布路線再編による乗り継ぎ改善の効果を把握するための調査を実施

実施状況

町内循環型コミュニティバス実証運行
・平成21年9月中及び平成22年1月中にそれぞれ14日間づつ運行
・循環型3ルート
・1日4便(午前2便・午後2便)
・利用者アンケート調査を実施

公共交通の利用促進に向けた取り組み
・町営バスと空知中央バス等との乗り継ぎ利便性向上のために、運行時間設定や運行ルートの変更を実施
・乗り継ぎ改善後の効果把握調査を実施
・路線再編後の住民アンケートの実施
・既存施設を活用したコミュニティ(バス待合)スペースの設置

自己評価のポイント

・本年度は町内循環型コミュニティバス実証運行を実施した結果、おおむね目標値を達成した。
・次年度はデマンド型の運行形態という住民意向もあること、また、財政面の問題もあることから比較検討することが必要であり、本格運行実施する環境の整備に向けて必要な検討を行った。

二次評価のポイント

自己評価のとおり、持続性を考慮し、地域に適した交通体系を構築するよう期待する。